

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上下水道総務課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施 策	3-2 危機管理体制の確立	事 業	3-2-1 テロ対策の強化

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。							
事業目的	・水道施設に毒物投入などのテロ攻撃を受けると、市民生活や経済活動を脅かす事態となることから、テロ行為抑止のため、水道施設の警備強化および水質監視体制の強化を図ります。 ・緊急時の飲料水の供給体制、関係団体等との連携などの対策強化を図ります。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・浄配水場の機械警備や進入防止策を維持し、調査研究を行い警備体制の強化を図ります。 ・応急給水訓練を実施します。 ・関係団体との連携強化を図ります。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	23,747	23,747	0	23,747	23,747	0	100%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	23,747	23,747		23,747	23,747		100%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	6,225			6,225			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	20,454千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	86%		
進捗状況	・複数年契約を行うことにより、年間を通して安定的な高度機械警備体制を維持し、浄配水場の安全を確保しています。 ・会議等を通じ、日本水道協会等の関係団体との連携強化を図りました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・複数年契約を行うことにより、年間を通して安定的な高度機械警備体制を維持し、浄配水場の安全を確保しました。 ・応急給水班と管路復旧班で連携し応急給水訓練を実施しました。 ・会議等を通じ、日本水道協会等の関係団体との連携強化を図りました。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	応急給水訓練の実施	単位	回/年	目標値	2			
算出式・根拠				実績値	2			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・浄配水場の機械警備や進入防止策を維持し、調査研究を行い警備体制の強化を検討しました。 ・応急給水訓練の実施内容や関係団体との会議に関する情報提供を増やし、職員の理解を促進し、非常時の対策を強化します。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・浄配水場の機械警備や侵入防止策を維持し、調査研究、警備体制の強化に努めます。 ・非常時に備え、各班ごとに必要な訓練を実施します。	現状維持で継続